

アグリ筑西

2021 5月号



新型コロナウイルスの変異株が猛威を振るっております。1人ひとりが最新の正確な情報に基づき適切な対策をとっていくことが重要です。

県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)
筑西地域農業改良推進協議会 発行
Tel : 0296(24)9206 Fax : 0296(24)6979



筑西地域農業改良普及センターHPへアクセス! →

🍉 こだまスイカシーズン到来!

茨城県筑西市・桜川市は日本有数のこだまスイカの産地です。本産地のこだまスイカは3月から7月頃まで出荷されます。大きな特徴は大玉スイカと比べ、サイズが手頃なところ。それ以外にも糖度が高い、皮が薄いので食べられる部分が多い等の魅力があります。

当産地では立夏(今年は5月5日)を「こだますいかの日」と定め、夏を先取りする味覚として提案しています。爽やかな食感のこだまスイカで一足早く、初夏気分を味わってみませんか?

当普及センターのホームページでは、こだまスイカを購入できる直売所一覧を掲載しています。是非チェックしてみてください!



麦類の出穂が早まっています ~赤かび病防除も遅れずに行いましょう~

麦類生育期のこれまでの平均気温の推移は下図のとおりです。気温は1月下旬以降準平年に比べて高く推移しました(図1)。一方、降水量は生育初期に非常に少なく乾燥傾向で推移しましたが、2月15日の降雨以降、土壌水分が湿潤となり、気温の高温傾向と相まって生育が進み、出穂期は例年よりも早まっています(表1)。麦類の農産物検査時の赤かび粒の混入限度は0.0%とされていますので、赤かび病の防除は重要な作業です。防除作業は適期に行いましょう(表2)。

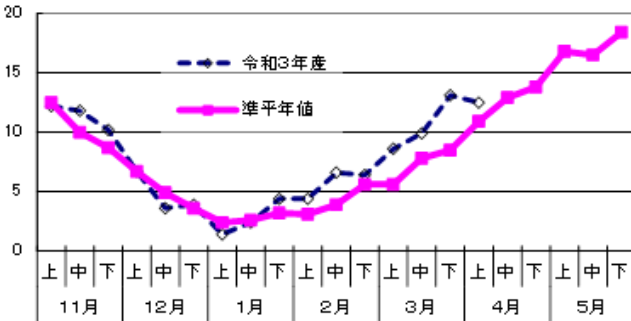
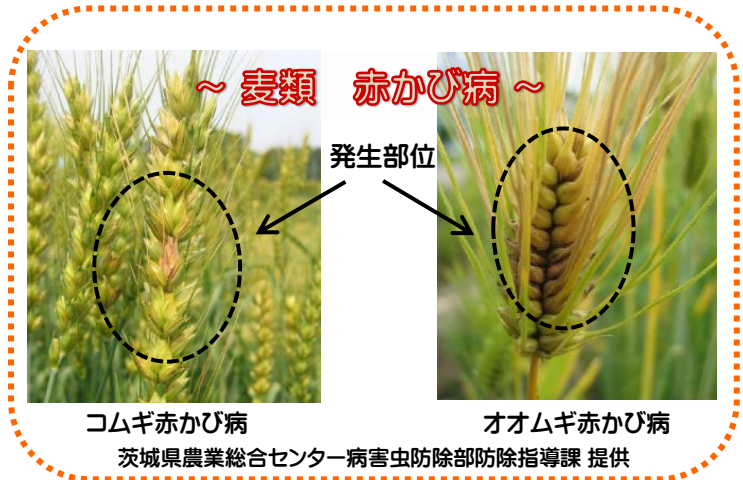


図1 下館アメダス観測地点における気温の推移



コムギ赤かび病

オオムギ赤かび病

茨城県農業総合センター病害虫防除部防除指導課 提供

表1 小麦「さとのそら」の生育状況

年産	播種期	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	SPAD	出穂期
R03	11月13日	38	704	46.7	4月10日
R02	11月13日	32	1,043	42.4	4月16日
R01	11月13日	43	1,047	44.0	4月18日
H29	11月13日	38	858	39.2	4月16日
H28	11月18日	20	1,131	43.6	4月23日
H27	11月13日	40	745	40.2	4月16日

※草丈、茎数、SPADは3月下旬の調査結果

表2 赤かび病の防除適期

麦種	1回目	2回目
六条大麦	開花を確認した時 (出穂期の3日後頃)	1回目の7~10日後 (降雨が続くなど発病の好適条件が続く場合)
二条大麦	穂から葯が出ているのを確認した時 (出穂期の12~14日後頃)	
小麦	開花始期~開花期 (出穂期の7~10日後頃)	

ミツバチと農薬～受粉蜂を使う農家への注意喚起～

ミツバチを受粉蜂として活用している農家のみなさん、ミツバチは農薬の種類によっては、蜂群が全滅したり、巣から飛び立ってしまうのをご存じですか？農薬影響日数が0日のものでも薬液が乾いてからミツバチを放飼するようにしてください！ハウス内に巣箱を入れたままの薬剤散布は控えてください！農薬の種類や影響日数を今一度確認し、ミツバチをうまく管理しましょう！

未成熟とうもろこしの病害虫防除暦を作成しました

未成熟とうもろこし病害虫防除暦 県西農林事務所経営・普及部門

害虫	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	備考
アワノメイガ								幼虫は茎に潜り込んで髓を食べる。子実に潜り込んで食い荒らす
アワヨトウ								幼虫は主に葉を食べ、体が大きく、食害量が多い。
オオタバコガ								幼虫が根糸や根を食害する。多発はまれ。
ツマジロクサヨトウ								幼虫は茎頂部に穿孔し、未展開の葉や幼穂を食害する。
アブラムシ類								成虫・幼虫が葉、穂穂、果実、鞘部の汁を吸うため、株が弱る。
カメムシ類								とうもろこし果実の皮の上から吸汁して葉を变形、変色させる。
ネキリムシ類								出芽発生または定植苗の株元を食害して、枯死させる。
ハダニ類								多発すると果実の表皮を変色させ、商品価値を低下させる。
萎枯病								葉鞘に褐色の大型斑点を生じ、下位葉から枯凋する
苗立枯病								生育が遅れ、葉の先端や周辺が黄褐色となって、ひどいと枯れる。

害虫発生目安： 多発生 中発生 少発生

生産者からの要望があったことから、未成熟とうもろこしの病害虫防除暦を作成しました。希望の方は普及センターまでご連絡ください。

県西農林事務所 経営・普及部門 連絡先 TEL:0296-24-9218

令和3年度経営・普及部門(普及センター)新体制について

部門長 次田和則 (花き) ☆

☆印は今年度赴任した職員

経営課 (全域担当)

課長 谷口信之(経営)
主査 中島佳功(作物) ☆
専門員 飯塚俊祐(経営)
主任 遠藤優子(経営)
会計年度職員
佐々木栄子

地域普及第一課 (筑西市担当)

課長 祝園真一(果樹) ☆
副主査 駒形智幸(花き) ☆
専門員 坪井真樹(作物)
技師 田山桃佳(一)
技師 柳田喜史(育任)
技師 津坂早織(野菜) 育休

地域普及第二課 (桜川市担当)

課長 八城和敏(野菜)
専門員 毛利直子(花き)
主任 齊藤賀一(作物)
技師 小林拓朗(一) ☆

地域普及第三課 (下妻市担当)

課長 小山田一郎(作物) ☆
専門員 西村撰(作物)
主任 嶋川真理子
(アグリビジネス)
技師 安藤美咲(果樹)
会計年度職員
中山正人

普及員のひとりごと
～ 小林拓朗～

新規採用職員として、4月から筑西普及センターに配属されました小林です。大学では、夏に作るイチゴについて研究をしていました。農業が盛んな地域で働くことができることに幸せを感じております。農家さん、地域の方や先輩職員から色々学び、早くみなさまのお役に立てるよう頑張ります。また、今年度のアグリ筑西の編集を担当しています。掲載してほしい情報をお持ちの方は、小林までお問い合わせください。

今年度はこのメンバーで頑張ります。よろしくお願いいたします。

皆さまからのご意見・情報をお待ちしております。

